

<「困り感」のある子どもたちの生活^{いき}ることを考えるシンポジウム

～将来を見据えて、いま出来ること～>（自主事業コース）

■ 申込み団体名

ハニー・ビー

■ 申込み事業の概要

障害のある人が将来のビジョンを描けるよう、生活^{いき}ることを考える、将来へと繋がる意識へと変革するきっかけとなるようなシンポジウムを開催する。

■ 交付決定額

314,000 円（事業予算 628,160 円）

■ 目的

障害のある人は、地域で共に育ってきたにも関わらず、福祉的就労を選択されることが大半です。ある年齢に達したら働くことが当たり前という社会になるには、小さい頃から寄り添う支援が当事者だけでなく保護者にも必要であることを、多くの関係者の方々と共有していくスタートとする。



◎活動の様子（平成 21 年度）



7月25日（土）、「僕たち私たちは社会に出たい」と題したシンポジウムが中央公民館で開催されました。

内容は、厚生労働省から就労支援専門官の前野哲哉さんを招いての基調講演、3つの分科会に分かれての意見交換会、パネルディスカッション。

悪天候の中にもかかわらず約40人が参加しました。



左写真は、第1分科会の様子です。

どの分科会とも、参加者が日頃感じていることを発表し、活発な意見交換が行われていました。

ハニー・ビーは、他にも「講演会」や「相談会」を開催されています。